【資料１】

令和７年度 地域間幹線系統確保維持地域計画（変更案）の概要

１ 概要

第２回総会において、広域的・幹線的なバス路線である地域間幹線系統について、国と道の補助も活用しながら維持するため、地域間幹線系統の計画及び北海道胆振地域公共交通計画と連動した「別紙」を策定した。

この際、交通事業者の人手不足等を踏まえ、豊浦線及び有珠線①の路線のあり方を検討・調整し、地域間幹線系統の補助対象外としたが、その後、豊浦線と洞爺湖温泉線の再編について関係市町と交通事業者において協議を重ねた結果、豊浦線と洞爺湖温泉線の再編を行うことで整ったことから、今般、洞爺湖温泉線を豊浦まで延伸する形で、地域間幹線系統の計画及び北海道胆振地域公共交通計画と連動した「別紙」を変更する。

また、洞爺湖温泉線②について、観光需要を取り込むため、これまで壮瞥町東町までであったところを昭和新山まで延伸することになったため併せて変更する。

２ 対象系統 全１４系統

（１）道南バス株式会社 １０系統

室蘭・洞爺湖温泉線①・②、室蘭・伊達線、胆振線、洞爺湖温泉線（豊浦線と再編）、洞爺湖温泉線②（昭和新山まで延伸）、室蘭市内線②、登別・苫小牧線、室蘭・登別温泉線、日高沿岸線①

（２）あつまバス株式会社 ４系統

苫小牧線①・②・③、千歳線

※ 日高沿岸線①、苫小牧①・②・③、千歳線については地図外のため、図面には記載しておりません。